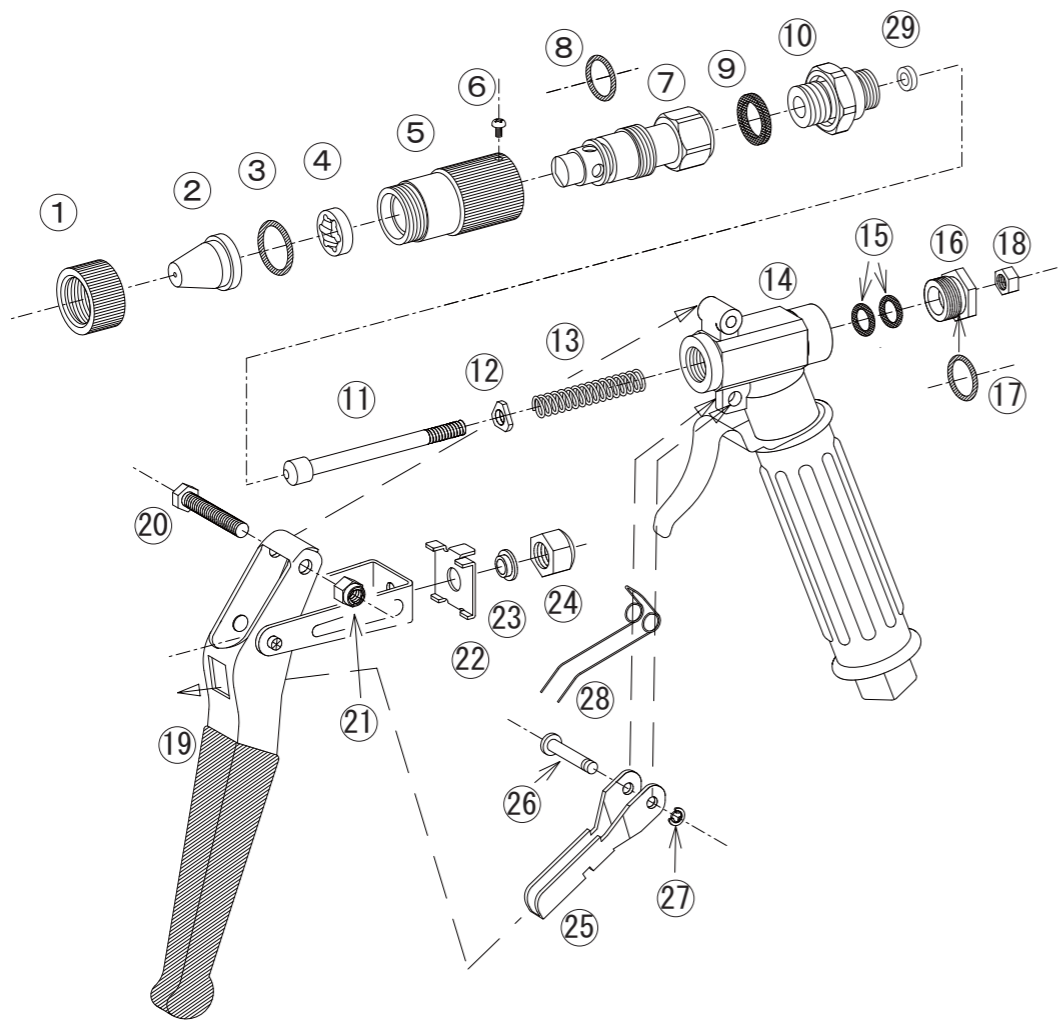


バリアガンG-80

パーツリスト



No.	コード番号	部品名称	個数	備考	No.	コード番号	部品名称	個数	備考
1	1117202	キャップ	1		16-17	1117216	グラウンド(完)	1	Oリング付
2	1117201	噴口	1	穴径...φ1.5	17	3100800	Oリング	1	P-11
3	3101000	Oリング	1	P-14	18	1117218	ニードル調節ナット	1	M5
4	1117203	拡散用中子	1		19	1117217	レバー	1	
5	1117204	噴口本体	1		20	1117213	レバー取付用ボルト	1	
6	1117205	ビス	1	M3x4	21	1117214	M5 Uナット	1	
7-8	1117206	自在軸(完)	1	Oリング付	22	1117221	戻り止め金具	1	
8	3100800	Oリング	1	P-11	23	1117219	アームリング	1	
9	1117207	パッキン	1	16x12x2	24	1117220	ニードル軸調節用袋ナット	1	
9-10-29	1117208	バルブ用ニップル(完)	1	パッキン付、シート付	25	1117223	オートロック爪	1	
11	1117210	ニードル軸	1		26	1117224	キックパネ止めピン	1	
12	1117211	振れ止め	1		27	1117225	Eリング	1	φ3.2
13	1117212	スプリング	1		28	1117226	キックパネ	1	
14	1117215	胴本体(完)	1	握り付	25~28	1117222	オートロック爪(完)	1	
15	3100201	Oリング	2	P-5 90°	29	*****	バルブシート	1	※

※印は、部品での販売は行っておりません。

弊社ホームページでも検索できます。

スプレーノズルのパイオニア永田製作所 で検索し **パーツリスト** をご覧ください。

1117200-001



⚠ ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書

バリアガン G-80

最高使用圧力8.0MPa

⚠ 安全に防除作業をしていただくために

この度は当社バリアガンG-80をお買い上げいただきありがとうございます。
 ご選定いただきましたバリアガンは、お手持ちのポンプ性能に適合しているか確認してください。洗浄作業では高圧力で使用されるため誤った使い方、不安定な作業現場、無防備な服装等では、絶対に使用しないでください。この取扱説明書では安全な作業をするため、守っていただきたいポイントに ⚠ のマークを表示し説明していますのでよくご理解され、事故のない安全な防除作業をしてください。なお、本書はいつでも内容が確認できるように、大切に保管してください。

機能操作の説明

- (1)バリアガンをホースに取り付ける際は、シールテープ又は、ねじシール剤で漏水のないようしっかり工具で締め付けてください。
- (2)レバーを握るとバルブが開き先端のチップより高圧水が噴射し、レバーの指を離すとバルブが閉まり高圧水がストップする構造になっています。
- (3)レバー上部には安全確保のためオートロック装置がついています。レバーから指をはなし、噴射が止まると同時にオートロック爪が掛かり、レバーが固定されます。再び作業をする場合は、オートロック爪を指で押し上げながらレバーをゆっくり引いてください。
- (4)スプレーパターンをストレートから15度のフルコーン状に変化することができます。レバーを引いたままでは絶対に操作しないでください。高圧水が噴射しているため手にかかる大変な事故となり危険です。レバーから指をはなしグリップを持ち頭部の手前レット部を回し調整してください。片手作業用の為、必ずもう一方の手でホースを支えてからレバーをゆっくり引き噴射してください。急激にレバーを引くと、ガンに相当な反動が加わりますのでご注意ください。

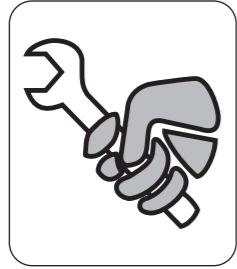


スプレーノズルのパイオニア

株式会社永田製作所

<http://www.nagataseisakusyo.co.jp>

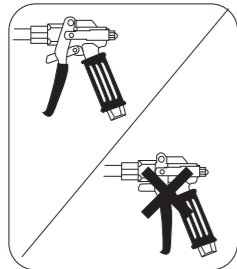
注意



- ▲(1) 毎回作業前にはホース取付部及びガン各部ねじのゆるみまたは、損傷異常箇所がないか点検のこと。

安全を期すためホース接続部の取付けねじ及びノズルガン本体の各部ねじの締め付けに異常がないか工具で点検し、ゆるんでいる場合は完全に締め付けてからご使用ください。

あわせて各部に損傷がないか、操作機能に異常がないか確認し、もしも異常があった場合は、お求めの販売店で完全に修理してください。不完全な状態のままご使用になりますと、高圧水が噴出し事故の原因になりますので十分注意してください。



- ▲(2) 運転前にはバリアガンの止水バルブが閉まっているか、レバーの位置を確認のこと。

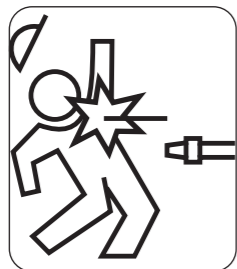
ポンプを運転する前には、バリアガンに内蔵している止水バルブが完全に閉まっている状態になっているか、必ずレバーの位置を確認してください。レバーが引かれた状態でポンプを作動しますと、ガンがついたままホースごと振り回され大変危険です。



- ▲(3) 作業時は防水服・保護用具を必ず着用のこと。

洗浄作業では高圧水が噴射されますので、安全に作業をするため、身体に密着した防水服、防塵マスク、顔面保護ゴーグル、手袋、安全靴（又はゴム長靴）などを必ず着用してください。洗浄作業中には高圧水やはがれた泥、土砂、粉塵等が跳ね返り危険です。作業中は必ず全身を完全に防護し付近に人（特に子供）が立ち入らないようにしてから作業してください。

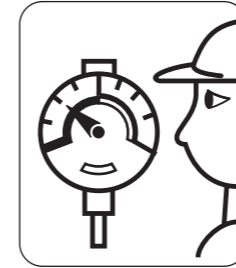
警告



- ▲(1) バリアガンの先端はいかなる時でも絶対に人や動物及び危険物には向けないこと。

ポンプの作動時はバリアガンをしっかりと持ち、バルブが閉まっているか確認し付近に人（特に子供）や動物がいないか、飛びだしの危険、又は危険物がないか、確認してください。バリアガンのレバーを引くと瞬時に高圧水が勢いよく噴射します。人に噴射すると大事故になります。また、バリアガンに相当の反動が加わりますので、一方の手でホースを支え足元の不安定な場所、姿勢での作業は絶対にしないでください。

作業前点検準備



- ▲(2) 指定圧力以上での使用は絶対しないこと。

バリアガンの最高使用圧力以上で使用されますとシール部材が損傷又は破損し事故の原因となる恐れがあり大変危険です。もしも、ご不明な点が、ありましたら販売店までお問い合わせください。



- ▲(3) きれいな水以外は使用しないこと。

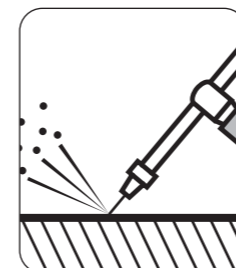
汚れた水、土砂、ゴミ等の混入した水、及び温水、スチームは使用しないでください。シール部の損傷、ノズルチップの早期摩耗及び目づまりによる故障または耐用期間の低下、熱による火傷等の原因になります。

注意

- ▲(4) ポンプの作動中はバリアガンの補修、放置をしないこと。

チップの目づまり、交換、接続の異常その他の補修は、必ずポンプを停止させたのちガン本体のバルブレバーを握り残圧を抜いて、ホースから外してから行ってください。なお、ポンプ作動中はガンを放置しますと作業員以外の人に触ったり、又は機物等の接触によりバルブが開き高圧水が噴霧する恐れがあり大変危険です。

作業終了後遵守事項



- ▲(1) 作業後はバリアガンの残圧処理を行うこと。

作業終了後はポンプを停止しても、バリアガン本体及びホース内には使用中の高圧水が残っています。必ずノズルの先端を前方下に向け、人や危険物がないか確認した後にレバーを引きバルブを開いて圧力を抜いてください。



- ▲(2) 運搬、保管、取扱上の注意をすること。

使用後はバリアガン本体内の水を抜くためホースから外してください。運搬保管に際しては下積にしたり、投げたり引きずったり他の目的には使用しないでください。寒冷地・冬季等では残水のまま放置しますと凍結破損をおこす恐れがありますので十分注意してください。なお、バリアガンは子供の手の届かない屋内にて保管してください。